

キャラクター名	プレイヤー名
星灯 空 (ほしあかり うる)	

シンドローム	キュマイラ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
	オルクス				
オプション	ハヌマーン	年齢	16	性別	女
覚醒	感染	衝動	加虐	初期侵食率	29 %
出自	貧乏	経験	脱走	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	1	0			4	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	3	0	0			3	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC	6		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
		ロイス			
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費	
桐生嚙矢	P 連帯感	N 恥辱			
狩戸修	P 友情	N 食傷			
人上立花	P 尊敬	N 食傷			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	6	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト:キュマイラ	2	2						
効果:	C値-Lv							
魔獣の衝撃	4	2						
効果:	攻撃力+5。判定+LvD。ラウンド1回。							
魔獣の本能	1	2						
効果:	RCを肉体で判定する。							
振動球	1	3						
効果:	攻撃力+Lv。装甲無視							
大地の加護	4	2						
効果:	攻撃力+[Lv*2]							
要の陣形	2	3						
効果:	対象を3体へ変更。							
茨の縛め	1	1						
効果:	攻撃力+Lv。硬直を与える。							
海の恩恵	★		常時	至近	自身	自動成功		
効果:	水中によるペナルティを受けない							
軽功	★		常時	至近	自身	自動成功		
効果:	壁や水面を走れるほど身軽になる							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

生まれたときからスラム暮らしで、捨て子。だが周りの人間は良くしてくれたので、貧乏だったがあまり酷い育ち方はしなかった。伊庭宗一がやってくるまでは。伊庭は全てを壊していった。それまで自分が過ごしていた世界全てを。その時の光景は今でも覆えている。否、忘れてはならない。自分はその地獄で、死神の気まぐれによって生き延びたに過ぎないのだと彼女は確信していた。オーヴァードとして覚醒したのはその時で、伊庭の手によって無理やり覚醒させられている。以降は伊庭の伝手によりUGNに保護されることになる。まともな生活環境を与えてくれた伊庭は実質父親のようなものだが、彼に抱く感情は主に殺意と恐怖で占められている。しかしその一方で、あのぶち壊された世界を忘れない理由にもう一つの心当たりも存在した。

過去、空はUGNからの脱走を試みている。しかしそれは失敗した。自分以上に世渡りが上手く、そしてオーヴァードとしても各上であるライバルの全面的協力を得てまあ。それは空が心の底ではUGNから離れたくないと思っていたからだった。彼女はそれに気づいてしまったのだ。彼との…伊庭との関係を切りたくない自分に。

空は望んでいたのだ。伊庭にあの光景を見せる未来を。かつて自分が味わった低俗で凄惨で地獄のような……あの最高の世界を、悪人でもあり仇でもあり、殺意という愛しい絆で結ばれた伊庭に見せることを。それを自覚してからの空は精神も落ち着き、性格も少し明るくなった。悩みが吹っ切れたからだろう。彼女はこれからも自らの起源を忘れることは無い。

四歳のころ伊庭に生活環境を破壊されており、それ以降はUGNチルドレンとして施設で生活している。UGNとしての活動には特に思うところは無く、命令があれば遂行するだけ、というスタンス。だが自分と同じ施設で育ち、しかし自分とは違い施設生まれであった為名前すら持たなかった…今では桐生と呼ばれている少年の事は気にかけていた。